

議会運営委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和6年3月15日（金）

午後5時10分 開会

午後6時22分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（10名）

委員長	宮 城 克
委員	山 城 康 弘
委員	上 里 広 幸
委員	平安座 武 志
委員	岸 本 一 徳

副委員長	我如古 盛英
委員	知 念 秀 明
委員	石 川 慶
委員	宮 城 優
委員	桃 原 功

議 長	呉 屋 等
-----	-------

○ 欠席委員（0名）

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（0名）

基地政策部 次 長	津波古 良幸
--------------	--------

基地渉外係長	里 村 圭 祐
--------	---------

○ 議会事務局職員出席者（4名）

局 長	川 上 一 徳
議事担当主幹	平 田 駒 子

次 長	仲 村 厚 子
議事係長	大 城 拓 也

○ 協議案件

1. オスプレイの飛行再開について
2. その他

議会運営委員会（要旨）

令和 6 年 3 月 15 日（金）

○宮城克 委員長 ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

（開会時刻 午後 5 時 10 分）

【協議事項】

追加議案について

○宮城克 委員長 本件は、桃原功委員より申入れがあり議題とする。申合せや同様の前例に照らし、議会運営委員会の所管とし招集に至った。

先に、桃原委員より提案の趣旨説明をお願いします。

○桃原功 委員 昨年 11 月屋久島沖で 8 人もの乗員が亡くなる事故後、米軍は世界中全てのオスプレイを飛行停止にした。3 か月経過した今、事故の原因究明もしないままに、市民・県民感情を逆なで、強硬に飛行再開することに市長に呼応し、抗議すべき思い、提案に至っている。

○宮城克 委員長 ただいまの説明に、質疑等あれば挙手にてお願いしたい。

○平安座武志 委員 米軍に対してか、国も含め両方にアクションを起こしたいのか。

○桃原功 委員 米軍に対する強い抗議と、国民県民に対して説明のないことを容認してしまう日本政府の姿勢に対しても、両方に抗議したい。

○平安座武志 委員 原因究明はされていると認識しているがいかがか。

○桃原功 委員 されていないと考える。

○平安座武志 委員 原因究明はされているが事故調査委員会の調査は補償や懲戒処分に関わることが含まれているため報告書が公表されるまでは原因等については公表できないとの記載資料がある。「原因究明がされないままの抗議」には当たらない。

○桃原功 委員 その資料は持ち合わせておらず、把握していない。国民として、どこまで知りうるのか。その意味で原因究明がされていないと発言した。

○平安座武志 委員 新聞報道だけではなく、こういった内容も確認しながら進められるとよいと考える。

○桃原功 委員 その資料を持ち合わせていれば共有願いたい。

○宮城克 委員長 休憩します。（午後 5 時 20 分）

○宮城克 委員長 再開します。（午後 5 時 22 分）

○宮城克 委員長 本件の飛行再開等の状況を把握するため、基地政策部より説明をお願いしたいがよろしいか。

(「異議なし」という者あり)(基地政策部入室)

○宮城克 委員長 急な依頼への対応に感謝申し上げます。

それでは、飛行再開に至った経緯、状況、市の対応等の説明をお願いしたい。

○基地政策部次長 令和6年3月8日(金)米軍オスプレイの運用停止措置の解除について公表された。それを受け3月11日(月)、沖縄防衛局長から市長あて、オスプレイの運用停止措置の解除について説明があった。説明資料は翌日全議員あて配布した。沖縄防衛局長の説明より、米軍は事故原因を踏まえ4つの安全対策措置を講じること、本件の米軍の原因分析や安全対策は防衛省、自衛隊の専門的な知見や運用者の立場からも合理的であると評価している。安全に運用再開できる考えとのことであった。なお、日本国内のオスプレイ運用再開については日米両政府間で綿密に調整を行っているとの説明を受けた。市長からは、具体的な事故原因の箇所の説明ができないことに対し、それでは納得できないため、再度説明を求めるとした。

3月13日(水)沖縄防衛局から再度市長あて、普天間飛行場のMV-22 オスプレイの運用再開について説明があった。前回同様、原因についての具体的な説明は厳しいとのことであった。その際の提供資料も翌日議員へ配布した。翌日以降、オスプレイの飛行が再開されるとのことで具体的日程は示されなかったが、徐々に運用を行う旨説明があった。

翌3月14日(木)、普天間米海兵隊MV-22 オスプレイが普天間飛行場で運用再開され、基地政策部でも8時55分頃、目視確認した。

○宮城克 委員長 質疑等あれば挙手にてお願いしたい。

○山城康弘 委員 市としては、原因究明はされたという認識か。

○基地政策部次長 2回目の沖縄防衛局の説明資料より、オスプレイは防衛省、自衛隊としても安全を確保の上運用再開することが不可欠。今般の事故原因は特定されている。その原因に対する各種安全対策を講じることにより安全に飛行再開ができる。しかし、現時点では、米国内の制限により事故原因が公表できないとのことである。

○山城康弘 委員 原因究明されたかどうか、見解はいかがか。また、運用再開に向けて日米政府間で条件等の協議調整はされていたのか。

○基地政策部次長 見解として、現在示されている情報だけでは納得いかないとの見解である。昨日3月14日、市長から沖縄防衛局長へもう少し原因について示してほしいと伝えている。

日米両政府の調整等については、事故以降、防衛省内の各部署が部局横断的に連携し、米軍のオスプレイの設計や技術に係る安全性について責任を有する専門部局と毎週VTCを実施。防衛省としては前例のないレベルで技術情報に関するやりとりがなされてきたと認識しているとのことである。

○山城康弘 委員 日本の防衛省が、米側とのやり取りの中で安全性が担保されていると認識したということによいか。

○基地政策部次長 そのように説明を受けている。

○山城康弘 委員 最後に、玉城知事が新聞報道等で、再発防止策が出されていない状況の中で運用再開しているとの表現がされているが、それは正しいのか。

○基地政策部次長 資料によると、このように事故原因が特定されているために、各

種の安全対策の措置を講じることで「特定の部品の不具合」による事故を予防・対処することができるとしている。

○山城康弘 委員 そう書かれているということを理解した。

○平安座武志 委員 原因究明されたのかについては、重要であるため、再度確認だが、市長も担当部署も原因究明はされていないという見解なのか。私は秘書課に伺い話を聞き、新聞報道を見る限り、市長は、原因究明はされているが説明が足りない、納得できないと捉えたがいかがか。

○基地政策部次長 事故原因が特定されたという説明を受けているが、具体的な説明がないので納得ができないということである。

○平安座武志 委員 了解した。

○知念秀明 委員 3月15日の沖縄タイムスの記事によると「松川市長は、事故原因が究明されながら、詳細が地元を示されないまま運用が再開されたことを改めて問題視。本誌の取材に『納得できない』と述べた。この記事のとおりということではいいか。

○基地政策部次長 繰り返しとなるが、原因究明がされているとの説明を受けたが詳細が説明されていないため納得ができないということである。

○桃原功 委員 再確認だが、具体的説明がないのに「原因究明がされた」ということ自体が私は分からない。原因究明とは言えないのではないか。資料のどこの部分が原因究明された箇所か。

○基地政策部次長 繰り返しとなるが、事故原因の詳細について示されていないことから納得はできないということである。

○桃原功 委員 具体的な説明がされていないということは、原因究明がされたとまで言えないということではないか。

○基地政策部次長 沖縄防衛局からは、事故原因は特定していると説明は受けている。ただ、詳細についての説明は先ほどの理由により示すことができない。そこが示されないと納得はできない、ということでご理解いただきたい。

○桃原功 委員 資料のどの部分に事故原因が特定されていると記載されているか。

○基地政策部次長 5ページに「特定の部品の不具合が発生したことが事故の原因であると特定しています。」と記載がある。

○桃原功 委員 この抽象的な記載が事故原因の究明とは解釈できない。8名も亡くなっている事故である。

○呉屋等 議長 「特定の部品」について米側の安全上の問題でオープンにすることができないという説明があったか。航空機の場合、事故を起こした部品は交換すると思うが、資料では「必要があれば」としており、なぜ部品交換をしないのか疑問である。市長は、沖縄防衛局へ説明を求めると新聞報道にあったが、踏み込んで部品の交換まで求めるのか。

○基地政策部次長 今後の対応については現在調整中である。

○上里広幸 委員 沖縄防衛局の説明と飛行再開の時系列の確認をしたい。

○基地政策部次長 説明は11日と13日にあり、飛行したのは14日。飛行した後、市長から直接、沖縄防衛局長へ電話を入れている。

○上里広幸 委員 その申入れ内容についてももう少し詳しく伺いたい。

○基地政策部次長 不具合のあった原因に対しもう少し説明してほしいということ。また、練度を上げるため段階を踏んで飛行するとの説明と認識していたが、飛来・・・

○上里広幸 委員 今の「段階的」とする話は今後の運用のことか。

○基地政策部次長 当初の説明ではホバリングや基地内の場周路等により徐々に慣らしながらの運用再開していくのだらうとの説明だった。当日は、ホバリングをして飛行場上空を旋回し、読谷方向へ飛行していった。

○岸本一徳 委員 説明を求めているなか、飛行再開されているが、市長が抗議する予定はあるか。

○基地政策部次長 今後の対応は、現時点で決定はしていない。

○岸本一徳 委員 今後のどのような追加の説明があれば、どう対応するなど、考えがあるか。

○基地政策部次長 今後の対応は、総合的な検討の上となる。現時点では検討中であることをご理解願いたい。

○宮城克 委員長 先ほどの答弁の「段階的」とする内容は具体的説明があったのか。

○基地政策部次長 最初の資料で第1段階から第3段階までと示されていた。

○我如古盛英 委員 今後の対応はこれから決めていくことでよいのか。

○基地政策部次長 今後の対応は、検討の予定である。

○我如古盛英 委員 市長の認識は新聞報道のとおり「正直早い」とのことによいか。

○基地政策部次長 当初段階的な運用をされるだろうとの説明があったのでそのような見解を述べたと思われる。

○宮城克 委員長 質疑も尽きたようなので、基地政策部からの説明聴取は以上とする。説明に感謝申し上げる。

(基地政策部退室)

○宮城克 委員長 本件について、議会運営委員会からの提案議題として、意見書等提出に向け取扱うか否かを、各会派へ持ち帰り検討することによろしいか。

○桃原功 委員 持ち帰る前に、平安座委員が「原因究明できている」と考える箇所を教えていただきたい。

○平安座武志 委員 資料の各部分で出てくるが、3、4ページを見ていただきたい。また、国会等の大臣の答弁やニュースでもそのような発言が報道されている。

○桃原功 委員 3ページのどの箇所か伺う。

○平安座武志 委員 担当部局もそのような説明であった。3ページの上から3行目に「特定されています」と記載がある。

○桃原功 委員 了解した。

○岸本一徳 委員 他市議会の対応について、情報収集をお願いしたい。

○宮城克 委員長 他市の調査含め、今後の流れを事務局より説明願いたい。

(議会事務局長より日程案を説明)

○石川慶 委員 3月18日(月)の議運開催は週明けすぐとなるが、人数の多い我々の会派は、結論が出ていない可能性があるが、その報告でもよいか。

○平安座武志 委員 持ち帰る前に確認したい。今回の抗議決議はどの程度を求めるのか。飛行停止か、事故原因の公表か。

○**桃原功 委員** 先ほど、平安座委員から説明のあった原因究明されたとする箇所は、私の意見では納得はできない。米軍の都合で公開できないのは、相手の都合である。飛行再開するなということを含めた文案を作成したい。市民はそれを求めていると考える。

○**平安座武志 委員** どの程度の説明があれば「原因究明」されたと考えるのか。

○**桃原功 委員** この文章では、徹底的に解明されたとはいえない。出てきた説明を聞いてからの評価となる。

○**知念秀明 委員** 「原因究明」の捉え方は各委員異なると考えるが、市長の発言のとおり地元が納得できないまま、詳細も分からないまま、「段階的な」との説明とは違いそのまま飛ばしたということが問題。そこを納得のいく説明をすべきだとの方向で進めてはどうか。

○**桃原功 委員** そのとおりである。早めに文案を作成するので、皆さんが納得して進むようご協力をお願いしたい。

○**宮城克 委員長** 休憩します。(午後 6 時 09 分)

○**宮城克 委員長** 再開します。(午後 6 時 22 分)

宮城克 委員長 本件の取扱いについて、持帰り検討いただき、次回 3 月 18 日の議会運営委員会で確認してまいりたい。よろしいか。

(「異議なし」という者あり)

【協議結果】

本件を取扱うか否か、各会派へ持ち帰り検討することとした。

【協議事項】

その他

○**宮城克 委員長** ほかになければ終わりたいがよろしいか。

(「異議なし」という者あり)

○**宮城克 委員長** 本日の委員会を閉会いたします。 閉会時刻 (午後 6 時 22 分)